

# 事業維持に役立てて

## 盛岡市上下水道局に寄付

プラント制御盤の設計・製造を手掛ける東日本機電開発（盛岡市手代森、水戸谷剛社長）は27日、岩手銀行（田口幸雄社長）とともに、

市上下水道局（同市愛宕町、古山裕康局長）

を訪問し、盛岡上下水道事業の維持発展のため

として、10万円を寄付

とした。寄付金は「いわきんSDGs私募債」によるもので、森の維持管理の経費に活用される。

贈呈式には、水戸谷社長や同行の櫻野智道

が出席した。いわきんSDGs私募債は、顧客が私募債を発行した際の手数料の一部を学校や公共機関に寄付するもの。同社は6月にこの私募債を発行した。

古山局長ら関係者9人の1月で設立50周年を

水戸谷社長は「今年

迎えた。支えていただいた地域の皆さまのおかげ。感謝の意を込めて、地域を支える上下水道の活動に活用していただきたい」と寄付への思いを述べた。同社の私募債に伴う寄付は今回が初めて。櫻野支店長は「地域の社会貢献に取り組み企業に対して、一緒に環境問題などに取り組み、地域の活性化につなげたい」とあいさつ。水戸谷社長とともに古



寄付金贈呈式で記念撮影する水戸谷社長（中央）ら

山局長へ目録を手渡した。古山局長は「当局は盛岡の洗練な水資源を未来につなげ、持続可能な水の供給を図るための整備を進めている。寄付金は目的の趣旨に沿って大切に活用させていただく」と感謝の意を表し、水戸谷社長に感謝状を贈呈した。